

令和7年度 第2回伊勢原市食育推進会議 議事録

【開催日時】 令和7年11月20日（木） 午後2時30分～午後4時00分

【開催場所】 伊勢原市民文化会館リハーサル室

【出席者】 食育推進連絡会議委員9名・食育関連課5名・事務局5名

【公開可否】 公開

【傍聴者数】 0人

【配付資料】

- ・会議次第
- ・資料1 第4次伊勢原市食育推進計画 食育目標指標の状況資料
- ・資料2 横須賀市 プレコンセプションケア（ホームページ）資料
- ・資料3 「通いの場」への高齢者食育PR資料
- ・資料4 令和7年度伊勢原市食育料理コンテスト実施報告
- ・参考資料1 女性の低体重について参考資料

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（会長）

それでは、次第に沿って進めたいと思います。事務局から、ご説明をお願いいたします。

（事務局）

それでは説明させていただきます。（1）「第4次伊勢原市食育推進計画」について検討できればと思います。資料1をご覧ください。

第4次食育推進計画中間評価に向けて、昨年度、20歳以上の市民3000人に対し食育に関するアンケート調査を実施し、単純集計については既に報告をしておりますが、資料1の1枚目が計画で目標値設定がされているものについて、今回の意識調査の結果、令和9年度の目標値を並べて表示したものになります。

2枚目以降がデータの中から、特に有意差という統計的に差がみられたものについて、基本的な項目を抜粋したのものになります。

2ページをご覧ください。20代から30代の女性について、体格別に示したグラフになります。20代から30代の女性を、やせと、ふつう及び肥満で分けて、その中で「1-1. あなたはご自身の体格を今後どうしていきたいと思っていますか。」ということ聞いています。やせについては、ほとんどの方がやせたい又は維持したいと思っており、今既にやせている状態にも関わらず、それを維持したいと思っている回答が20代から30代の方は特徴的にみられました。「1-2. あなたは今、運動不足と感じていますか。」でも有意差がみられ、運動不足と感じていない方がやせの女性には多く、既に何か運動をされているか、または意識しているといった特徴もみられました。

3 ページは40代から50代の働き盛りの男性の方について、体格別に見たグラフになりますが、こちらについてはやせ及びふつうと、肥満で分けたところ、「2-1. あなたはご自身の体格を今後どうしていきたいと思っていますか。」では肥満の方の約8割が、やせたいという気持ちを持っている結果でした。また、「2-2. あなたは今、運動不足と感じていますか。」についても、肥満の方の約8割が運動不足と感じている結果であり、「2-4. あなたは職場、地域、病院などで栄養・食生活に関する話を聞いたり指導を受けたことがありますか。」では、指導を受けたことがある方は、やせ及びふつうの方より肥満の方が多くいた状況でした。

4 ページは高齢者の低栄養傾向の方と低栄養傾向でない方を比べたものになります。65歳以上の方でBMIが20以下の方を低栄養傾向としたところ、女性の方が低栄養傾向の方が多かったです。「2-3. あなたは現在、健康だと思えますか。」という主観的健康観については、健康でない、あまり健康でない、普通、という方が低栄養傾向の方が多かったです。「3-3. あなたはご自分の体格について、今後どうしていきたいと思っていますか。」については、太りたいと思っている方が低栄養傾向の3分の1以上いる結果になっています。

次のページからは項目が多いためグラフを省略させていただいています。5 ページは20代から30代の若い世代の朝食の有無についてですが、朝食を欠食している方は主食・主菜・副菜のそろわない食事をしている方が多かったです。一方、朝食を欠食していない方は、中学生、高校生の頃に3食決まった時間に食事をとっている方が多かったという結果でした。「4-4. 現在のあなたの経済的な暮らし向きはどうですか。」では比較的余裕がないと回答した方が、朝食を欠食している方が多いという結果が出ています。

6 ページは主食・主菜・副菜のそろう頻度を確認しているのですが、年齢や世帯の状況、体格についてなど、非常に様々な項目と差が出ていました。中学生の頃や高校生の頃に「5-7. 家では、1日3食いずれも決まった時間に食事をとっていた。」という方や「5-9. 家では、家族と一緒に料理していた。」という方は主食・主菜・副菜が今そろっていると答えた方が多い傾向が出ています。また、「5-11. あなたは今、運動不足と感じていますか。」、「5-12. あなたは今、体力や健康を維持するため、運動をしていますか。」、「5-13. 現在のあなたの経済的な暮らし向きはいかがですか。」、「5-14. 現在あなたには、生きがいはありますか。」、「5-15. あなたにとって、ご自分の地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか。」といったところも主食・主菜・副菜のそろう頻度と有意差が出た項目となりました。

8 ページは有意差を見ていないのですが、「5-(1) 主食・主菜・副菜のうち、最もそろいにくいのは何ですか。」では副菜、つまり野菜を使った料理がなかなかそろわないといったような結果でした。「5-(2) 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。」については、どの年代も一番多いのは手間がかからないこと、その次に時間があること、また、特に20代や30代は食費に余裕があることが出てきていました。

9 ページの共食については、「6-2. 世帯の状況」で一人暮らしの方はやはり共食していない方が多く、「6-3. あなたは朝食・昼食・夕食に主食・主菜・副菜のそろった食事をしていますか。」については、共食をしている方がそろう傾向でした。「6-4. あなたは、ふだんの食事時間が楽しいと感じますか。」、「6-5. あなたは、ゆっくりよく噛んで食べることを意識していますか。」についても差が出ています。中学生や高校生の頃に「6-6. 家ではいただきます、ごちそうさまの挨拶をしていた」方は、共食している方が多く、高校生の頃に「6-7. 家では、食事が楽しく心地よかった」方は、共食している方が多い状況でした。「6-8. 現在のあなたの経済的な暮らし向きはいかがですか。」では共食していない方に

「どちらともいえない」と回答した人が多かったです。「6-9. 家族との団らんをとるようにしていますか。」、「6-10. 現在あなたには、生きがいはありますか。」、「6-11. あなたにとって、ご自分と地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか」でも共食の有無で関連がみられています。

11ページのゆっくりよく噛んで食べるかどうかについては、男性の方がゆっくり噛むことを意識していない方が多い結果でした。「7-4. あなたは朝食・昼食・夕食に主食・主菜・副菜のそろった食事をしていますか。」、「7-6. あなたは、ふだんの食事時間が楽しいと感じますか。」で差がみられ、中学生や高校生の頃に、「7-7. 家では、1日3食いずれも決まった時間食事をとっていた」人の方がよく噛む意識がある方が多かったです。また、「7-8. 家では食事が楽しく心地よかった」、「7-9. 積極的に休養をとっていますか。」、「7-11. 家族との団らんをとるようにしていますか。」、「7-12. 現在あなたには、生きがいはありますか。」、「7-13. あなたにとって、ご自分と地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか。」に強い関連性が出ています。

また、今年度、高校1年生の皆さんにアンケートをとる機会があり、その結果が13ページになります。高校1年生の段階で、女子生徒の4分の1が、BMIが18.5未満のやせの状態という結果でした。

「2. あなたは自分の体格について、今後どうしていきたいと思っていますか。」については、女子の8割以上がやせたい又は維持したいと答え、高校生の段階からやせ願望が出てきていると思います。統計的な検定はかけていませんが、やせの生徒について、その後のグラフを見ていただくと、朝食がとれていない、食事作りを手伝っていない、主食・主菜・副菜がそろっていない割合が多く、若い世代からやせの問題がみられました。

19ページからは、大学に同じような項目のアンケートをとった結果になります。回答数が少なく、33人しかお答えをいただけていないため、かなり関心の高い学生さんが回答してくださったと思っております。BMIについては女子で2割の学生さんがやせで、今後の体格については4割くらいの学生さんが維持したいと考えているということで、大学生でもやせ願望がみられました。

今後、中間評価という形でまとめる予定なのですが、今の段階で課題となっている項目をまとめてみると、やはり若い女性のやせについて、体格の正しい認識についての普及啓発が必要です。また、働き盛りの男性や高齢者については、肥満の方はやせたいと思っていて、低栄養傾向のある高齢者の方は体重を戻したいと思っているので、うまく普及啓発をしていく方法を考えなければいけないところもあります。また、小学生、中学生、高校生時代に食育が進むほど、大人になってからバランスの良い食事がとれている傾向がみられました。中学、高校になると忙しくなりますが、その時期の食育が重要だということも、今回のアンケートからみられた傾向でした。経済的な暮らし向きと食生活については、非常に関連がみられたので、そのようなところも今後食育として検討していく項目になると考えております。

これらの結果について、ご意見やご感想、アンケートの結果で気になった内容があれば、それらも踏まえて今後の中間評価をまとめていきたいと思っております。

(会長)

ただ今、事務局より説明がありました。委員の皆様からご意見をいただきますとありがたいです。何かご意見ございますでしょうか。

(委員)

やせることに憧れるのは、現代の社会では致し方ないのかなと思います。社会の受け止めや、一般的な価値観からいっても、やせすぎていない方が良いよと言っても、スマートなものに憧れるというのは今のところしょうがないかなと感じます。

(会長)

女性のやせについては、一気にできることではないということですね。

(委員)

食事の準備の部分では、主食・主菜・副菜をそろえるためには、短い時間で作りたいという回答が多く、料理をしている人はカット野菜を買うなどの時短の工夫が出てくると思いますが、日頃料理をしないところを手を抜いて良いかわからないと思います。

(委員)

経済的な暮らし向きと食生活に関連がみられましたが、お金の使い方についても気になります。食べ物以外にも、ゲーム等にお金を使っていたり、様々なお金の使い方があるので、身体の基本となる食事に少しでもお金を使っていければ良いなと思います。また、朝食を食べない世代が親になると、そういった環境になってしまうのかなと思います。

(会長)

食事におけるお金の優先順位に関しては、回答がアンケートのためこれ以上の深掘りはできませんが、経済的な暮らし向きというのは、本人によって感覚も少し違うし、そのようなこともあると思います。他に何かご意見ございますでしょうか。

(委員)

グラフを見ると、ふつうと肥満がまとめられています。肥満の人がやせたいのかなと思うので、肥満とふつうを分けてはどうかと思いました。

(事務局)

女性に関しては、やせを見たかったので、やせを個別で出しています。次ページの男性については、肥満の問題があるため、肥満を個別で出しています。回答数が少ないので、傾向が出やすいようにまとめています。グラフの形については、中間評価の際に検討していきたいと思います。

(会長)

今回のご意見は中間評価に生かしていただき、効果的な取組につながりますようお願いいたします。それでは、次の検討事項について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

議事(2)若い世代の食育について説明させていただきます。資料2と参考資料1になります。先ほどの意識調査での課題などを踏まえ、新たな取組として、現在国の方でも推進をしております「プレコンセプションケア(妊娠前の健康管理)」の一環として、若い女性のやせについて、何か取組を進めていく必要があるのではと考えています。

その背景としては、参考資料1で説明しておりますが、女性の低体重は、肥満と同じように様々な健康リスクが高いということで、日本肥満学会の方で新たな疾患の概念と認められました。こちらの記事にもあるように、内閣府が実施した調査では、小学1年生でやせたいと思う女の子の割合が35.5%だったというような内容もあります。

資料2は、近隣の自治体を見ても取組はまだこれからというところも多いようですが、横須賀市が既に取組を始めておまして、本日は事例として横須賀市のプレコンセプションケアの市ホームページを印刷したのになります。参考にしながら、伊勢原市でも取り組んでいければということで、ご用意させていただきました。

横須賀市では具体的に、企業と連携して普及のチラシを配付したり、県立保健福祉大学と普及啓発動

画を作成し、美容院などにそのQRコードを配付したり、銀行内のスペースで展示したり、様々な場所や機会を通じて、若年女性のやせについて普及啓発を進めているようです。

先ほど高校生や大学生の話もありましたので、20代、30代の女性だけにとどまらず、その前の段階からの関わりも含めてアイデアなどご意見いただければと思います。

(会長)

ただいま事務局から報告がありましたが、委員の皆様より、若い女性のやせの取組などについてご意見などいただけますでしょうか。女性のやせについては、重要とはわかっているけど、まだ手を出していない自治体はまだ多いかなとは思っているのですが、やせの課題に関してはどこの自治体も同じなので、これから妊娠可能な世代への対策では重要な内容です。

(委員)

やせるということに対して個人的な考えですが、メディアでやせている人が多いということが一つの原因なのかなと思います。また、自分ではやせたいと思っていても、やせにくい体質の人もいると思います。筋力や体力を落とさないようにやせていくのは良いのですが、やせにくい人が無理をして、体を壊してしまうなど、知識なくやっている人もいると思います。

(会長)

おっしゃる通り、体質によって違いますね。

(委員)

関わる保護者の方々の体型が、細くなってきているイメージはあります。資料2を読むと、やせていると妊娠などに影響があると書いてあるので、やせすぎてもいけないと感じました。メディアでやせている人たちが出てくると、それに憧れる児童がいて、「私太ってる?」と聞いてくる子もいます。太っていないと言っても、「そうかな、テレビに出てのお姉ちゃんたちすごい細いよね。」と言います。そういう人に憧れを持つと、やせたいと思ってしまうのだと感じています。

(会長)

そうですね。欧米ですと、やせすぎたモデルは起用しないことになっています。おそらく今の20代や30代の方たちの中には、やせた人が妊娠すると低体重児が生まれやすくて、産まれた子どもは将来生活習慣病になるリスクが高まるというDOHaD説を知らない人もいます。やせていたらどんなリスクがあるのか教育をする必要があると思います。人それぞれだとは思いますが、分かれば納得して改める人もいるでしょうし、ある程度の知識は必要だと思います。

横須賀市は、広く普及するように、シンデレラを用いて動画を作り、若い方がみても面白いように配信しています。

大和市は、企業と連携してイベントで歯ブラシやハンドクリームなどを配ることで普及する他に、産婦人科医会と協力して、やせの方を市に紹介してもらうハイリスクアプローチも行っています。また、高校の養護教諭と連携し、授業を年に何回か行っていたと思います。

伊勢原市も推進できれば先進的な内容になると思うので、伊勢原市らしく、地域を活用しながら進めていただければと思います。

(委員)

出産した方から、「やせていて大変だった」などの妊娠期の体験談などがあると良いと思います。

(会長)

市民の知見や体験なども、上手に活用しながら進めていただければと思いますのでよろしくお願

たします。それでは、次の議事について説明をいただきます。

(事務局)

それでは、議事(3)高齢者の通いの場等での食育について、説明させていただきます。資料3をご覧ください。

先ほどのアンケートの結果から高齢者の低栄養傾向について報告させていただきましたが、地域での低栄養対策ということで、普及啓発のために食育活動をこれからも進めていければと思っているのですが、なかなか活動の場が増えない現状があり、検討させていただければと思います。

資料3の1枚目は健康づくり課で作成したチラシで、高齢者の方の通いの場に管理栄養士が行って食育ができるという宣伝になるのですが、なかなか活動の場が増えないような状況にあります。

また、市内5か所に地域包括支援センターという高齢者の相談をする拠点があり、そこが主催している介護予防教室での実施をPRをしているところですが、介護予防教室自体の数も増えていないようで、普及の場が増えない状況ではあります。

2枚目のA3の資料は、市内5か所の地域包括支援センターと連携し実施した実績を書かせていただいています。センターごとにも実施数の差が出てきてしまっている状況もあります。内容も工夫しながらやっていますが、もしかしたらワンパターンになっており、依頼が来ないような状況もあるのかなと思います。

3枚目は国の資料になりますが、介護関係でガイドライン改正がありまして、総合事業の充実に向けた基本的な考え方になります。現役世代が2025年度以降減少し、85歳以上の高齢者は増加していきます。専門職の確保も難しくなる中で高齢者を支えていくために、専門職は専門性を発揮しつつ、地域の高齢者や多様な主体を含めた地域の力を組み合わせて、高齢者を支えていきたいと思いますといった方針に方向転換していきます。例えば、要支援1、2など比較的軽度な方や支援を要する高齢者に対して、専門職だけでなく、住民の方が主体となって、通いの場や予防サービスを充実させることが期待されていて、支える住民の中には高齢者自身も含まれてきます。制度の改正が今回始まる中、低栄養予防の活動に向けてうまく普及していければと考えています。ぜひご意見をいただければと思います。

(会長)

ただいま事務局の方から説明がありました。ご意見等何かありましたら頂きたいと思います。

(委員)

先日、通いの場であるミニサロンで食事会をしました。地元の里芋を中心に野菜が入った豚汁とおにぎりを食べました。健康づくり課に来ていただいて、フレイル予防の食生活についてお話いただきました。共食が大事、筋力を落とさないためにたんぱく質が大事、地域の集まりに出ていくことが大事という3点は皆さん何回もお聞きしているので、私たちも伝えるようにはしています。コロナ禍以前は年3回位そのような催しがありましたが、コロナ禍以降初めての機会だったので、これからもできるだけ続けていきたいなと思っています。食生活改善推進員の方も来てご指導いただいて、皆さん喜んでいただいていたと思います。

(会長)

ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。

(委員)

小学校では、食育ではないのですが、1年生の児童が地域の高齢者の方を招待して、竹馬などの昔のおもちゃを使って一緒に遊んだりする活動があります。子どもたちも楽しみにしているのですが、高齢

者の皆さんがすごく喜んで楽しみにしているようです。食育に関することも高齢者だけでなく、子どもであったり、若い人であったり、一緒に楽しんでできる催し物があると良いなと思いました。

(会長)

ありがとうございます、良いヒントを頂きました。いわゆる他世代交流はとても重要ですね。他に何かございますでしょうか。

(委員)

農業協同組合では組合員のボランティア組織が、ミニサロン等を年6～7回、JAの各支店で開催しています。半日という短い時間でゲームや脳トレをやっていますが、このミニサロンと栄養の連携について、高齢者に栄養のアドバイスまではやっていないので、市と連携してそのような取組ができそうだと感じました。参考にしながら今後良い取組ができればという風に思います。

(会長)

ありがとうございます。良いヒントが多く出ました。

事務局からもお話がありましたように、この介護予防日常生活支援総合事業は令和6年度にガイドラインのようなものが出ています。

栄養は栄養、口腔は口腔、運動は運動のように縦割りでやっていると言職などの人材が足りないの、例えば、口腔と栄養と一緒にやってみるなど、専門職同士が横の連携を必ずとって、また、通いの場だけでなく、市民のニーズをよく把握して多様なサービスを行うことが重要だということです。従前事業だけでは難しいので、県内でも各市はそのような新しい事業やニーズを掘り起こしています。住民と一緒に多様なサービスを作るなど、情報を共有しながら進めていくことが必要です。

食事は介護予防の大きな柱の一つではありますが、食事ありきで進めるだけでなく、他と同列に進めていかないと、この総合事業はうまくいかないかなと思っています。ぜひ参考にさせていただければと思います。

それでは次の報告について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは議事(4)報告事項として、資料4をご覧ください。本会議でご意見を頂きながら運営をしている料理コンテストですが、今回で小学生は11回目、中高生は9回目の実施となります。伊勢原市の地場産食材を使い、小学生は朝食のレシピ、中学生と高校生はお弁当のレシピを募集しました。昨年度、3部門合計で1764件でしたが、本年度は1707件に減少しており、中学生部門のみ少し増えましたが、それ以外の部門で減っている状況でした。

表彰式ですが、12月8日に伊勢原シティプラザのふれあいホールで行う予定で、市長と、湘南農業協同組合常務より、表彰状と記念品、また各入賞者には今年度も湘南農業協同組合様より、副賞にお米をご提供いただけるということで予定しております。

毎年6月が食育月間ということで、受賞者のメニューを特に中学校給食のメニューで採用していただいておりますので、来年度も採用していただけるようお願いしているところです。

また、現在、伊勢原産の食材の普及に向けて、入賞者のレシピ集を作成しておりますので、完成しましたら関係機関で配布をお願いできればと考えております。レシピ集を見て自分も作品を提出したいと思ってくれるお子さんが増えると良いなと思っておりますので、配付のご協力をいただければと思います。

(会長)

ただいま事務局から報告がありました。ご意見、ご感想をよろしく願います。少し応募が減ったのですね。

(委員)

各部門審査させていただきましたけれども、どの作品も甲乙つけがたく、非常に点数をつけるのが心苦しかったところなのですが、食育としてこういう形でコンテスト形式にしてやっていくというのは、保護者や学校も巻き込んでというところで良い取組だと思います。これが将来につながってくるとすると、この取組については継続していつてもらいたいなということと、市民の関心をもっと寄せてもらえるように工夫できると良いのかと思います。

(会長)

ありがとうございます。料理コンテストは他市ではあまりやられていないと思いますが、良い取組だと思います。関係機関の良い巻き込み方だと思いますので、ぜひ続けていただければと思います。

それでは関係各課の皆さまより、本日の委員のご意見や事務局の説明など、各課で生かせそうなことやご感想がありましたら、一言ずつお願いいたします。

(こどもみらい課)

母子保健を担当しております、妊婦から乳幼児期の子育てをしている保護者と関わる機会が多いので、妊娠・子育てをきっかけに親御さん自身の食事も見直してくださいね、という話は随時させていただいています。妊娠前のアプローチに関しては、当課では対象者と接点はなかなか持てないので、このように市全体でアプローチの方法を考えていければなと思います。ありがとうございました。

(保育・幼稚園課)

保育園、幼稚園、認定こども園等を担当しております、若年女性のやせ願望に対しては、まず対象としているお子様たちがやせたいと思う前に、バランス良くおいしく楽しく食べ、元気に過ごせるようになりたいという気持ちが持てればと思います。施設の栄養士や調理員の集まりもありますので、そちらでも共有できたらと思います。

(教育指導課)

若い女性のやせ願望についてですが、学校現場では栄養士や栄養教諭を中心に、栄養をバランス良くとりながらおいしく食べようという指導はしておりますが、やせに関する話題は今まであまり多くは取り上げておりませんでした。学校現場では健康診断もあるので、養護教諭と栄養教諭のつながりによって、ただ単に食べる、栄養をとるだけでなく、健康を維持するという観点から話題に上げたいと思います。食に関しては子どもだけに働きかけても難しいところもありますので、懇談会等で食育に関する啓発を保護者に対し話題に出せるのではないかと思います。思いながら参加させていただきました。

(地域福祉推進課)

地域包括支援センター等と、地域の高齢者の方との生活をどう支えていくかという事業を展開していて、先ほどお話もあったミニサロンなどの事業展開の担当課です。アンケート結果からも高齢者のやせの課題がみえてきているということで、健康づくり課の皆さんには、フレイルや低栄養予防ということで、ミニサロン等で講話をしていただいているのではないかと思います。高齢者になってからやせというより、その前の年代からつながっているものという印象もあるので、会議等でそれぞれの世代や分野の関わりの中で課題を共有するのがとても大事なのだなと改めて感じました。総合事業も令和6年にガイドラインが改正されたということで、人材不足やサービスの多様化を地域でどういう風に展開していくかを包括支援センターや協議体のコーディネーター、また地域の方と対話しながら

課題をみつけて進めているところです。食育についても一緒に検討ができれば良いと思います。

(農業振興課)

スーパーなどに買い物へ行くと、野菜は地場産を素材からというより出来合いのものを買っているのかなと日々感じているので、健康づくり課さんで地場産野菜を使ったレシピなどの情報発信は大変ありがたいです。みかん狩りは保育園や幼稚園、小学校で行っているところもありますが、みかんの木が老木化した影響でなかなか提供できる場所が少なく、みかん狩りをしたいけれどできないという状況もあります。小さい時に食べたものは大人になった時も食べると思うので、様々な影響でそういった機会が減ると、将来の食の産業につながっていかないのではと思います。

(会長)

ありがとうございます。本日の議事はこれですべて終了いたしました。

参考になるご意見も本当にたくさん多く頂戴しました。食育の意識調査を見ていくと、子どもの頃の食習慣が大人になったときに結構影響しているということが、方向性として出ているということです。

若い女性のやせについては、伊勢原市に限ったことではないのですが、やはり産み育てることを考えるとやはり課題であること、そしてどの自治体も手が出せていないところがあるので伊勢原市は早い取組のスタートだと思います。いろいろ解析して、方向性を立てようとしているので、ぜひ具現化していただければと思います。

高齢者に関しては、やせが若い女性と意味が違っていて、本人はやせているとしんどいから体重を戻したいのだと思うのですが、若い女性の場合は、本人の体重が減ってもしんどくなく、困っていないので、だからこそ教育、普及啓発が重要なのだらうと思います。高齢者のやせは、現在はメタボの方が先行し、やせていることに優越感を持っている高齢者も多いですが、そうではなく、やせている高齢者はやはり若いときからやせているので、40代や50代でやせだと健診で貧血くらいしか引っかからないのですが、そのままですと高齢者のやせに突入します。動脈硬化などの危険性には直結しないのですが、その代わりにADLが落ち要介護認定になりやすいということになります。

そこで専門職がいろいろ活躍する場はあるので、やはり市民全体を底上げしていく必要もあるとなると、地域の力というのも、縦割りでなく横や多角的につながっていくことがやはり重要になるだろうと思います。高齢者は第1層・第2層の生活支援コーディネーターが中心になる重層的支援体制整備事業もありますので、こちらと上手につながることで、これは高齢者の部分だけでなく、子どものことも含めて地域のことを本当によく知っていて、他の部署もこういったところとつながっていくことが重要だろうと思いますので、ぜひ取り入れていただければと思います。

本日の進行にご協力いただきましてありがとうございます。それでは事務局の方にお返しいたします。

4 その他

(事務局)

次回の会議ですが、2月26日(木)午後3:30~午後5:00、伊勢原シティプラザの1階のふれあいホールを予定しております。よろしく願いいたします。

また、事務局で本日の会議の議事概要を作成いたします。皆様にも内容のご確認をお願いしたいと思いますので、お送りしましたらご確認お願いいたします。

それでは、最後に副会長より閉会のご挨拶をお願いいたします。

5 閉会

(副会長)

それでは以上をもちまして、第2回伊勢原市食育推進会議を終了とさせていただきます。